

国内交流 高松市

小学生派遣事業

平成13年より始まった高松市との交流は昨年6月、『歴史文化交流協定』が締結され、活発な交流が引き続き行われています。

本年も8月6日から8日までの3日間、高松市との友好親善交流として第12回目となる小学生派遣事業を実施しました。今年の派遣団は、市内小学6年生21名、団長、引率者（小学校教諭）1名と事務局（生活安全課）の計25名でした。

地元の国分寺北部小、南部小の児童との交流発表会やつながりの軸である讃岐国分寺跡等の貴重な歴史遺産を見学し、新たな友情作りと高松市の風土に触れ、両市の絆をさらに深めました。



小学生受入事業

また、8月19日に高松市讃岐国分寺小学生交流団23名が下野市を訪問しました。ゆうゆう館で行われた歓迎会では、下野市国内交流協会の女性役員の方々により、かんばんの卵とじ汁をはじめ地元産の野菜を使ったカレーとサラダが振る舞われました。また、その後の高松市小学生交流団と本市小学生交流団員との交流会では、下野薬師寺ボランティアの会の協力により「下野かるた取り」を行い、交流を深めました。その後、風土記の丘資料館や下野薬師寺歴史館、道の駅などを見学しました。

異なる土・異なる風・異なる水と空気
それぞれの故郷の違いと良さを体験する

第3回下野市中学生海外派遣事業

3回目となりました今回の派遣事業では、7月20日から26日までの7日間を派遣期間とし、池澤教育長を団長に迎え、石橋中学校より5名、国分寺中学校より4名、南河内中学校より3名、南河内第二中学校より4名、その他引率3名の、計20名の派遣団員が、姉妹都市を訪問しました。

現地では、ライン川沿いにあるマルクスブルク城を見学し、ドイツの雄大な自然や文化を目の当た



りにしました。また、ホルダーベルク中学校にも訪問し、現地の中学生たちと交流を深めました。

3日目の夜に行われた歓迎パーティーは、フランクフルト総領事をはじめ、多くの来賓の方々とホストファミリーが一堂に会して盛大に行われました。その中の下野市の中学生による出し物では、代表生徒による少林寺拳法の演武、生徒全員によるソーラン節の踊りを披露し、大変な好評をいただきました。

派遣団員の誰もが現地の方々の温かい歓迎やおもてなしに感動し、姉妹都市間の深い絆を感じることができた訪問となりました。

国際交流 デイーツヘルツァール